

「組織因子経路インヒビター2(TFPI2)」 検体採取容器変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、標記項目の出検に際しましては、採血管差の影響によりデータが低値化するため、メーカー推奨採血管を採用し専用採血管(99番)での運用を開始いたしました。この度、試薬販売元(東ソー社)よりTFPI2検査の採血管適用範囲を拡充した旨の通知があり、当社が採用するニプロ社製の汎用容器(01番)での採血が可能となりましたので、下記の通りご案内させていただきます。

敬具

記

対象項目／対象採血管

● [12488] 組織因子経路インヒビター2(TFPI2)

| 変更内容 | 新 | 旧 |
|------|---|---|
| 容器名称 | 汎用容器(01番) | TFPI2用容器(99番) |
| 採取容器 |  |  |
| 採血量 | 6mL・8.5mL | 5mL |
| 添加剤 | 凝固促進剤 | 同左 |
| 保管方法 | 常温 | 同左 |

※留意事項

- ・弊社指定の汎用容器(01番)で採血の上ご提出ください。なお、TFPI2用容器(99番)も引き続きご利用可能です。
- ・採血後、5～6回静かに転倒混和し、凝固完了を確認後、速やかに遠心機にかけ、そのまま凍結してご提出ください。(採血管内での凝固反応が十分でない場合、TFPI2が高値を示すことがあります)

変更期日

- 本案内以降、汎用容器(01番)でのご依頼が可能です。

